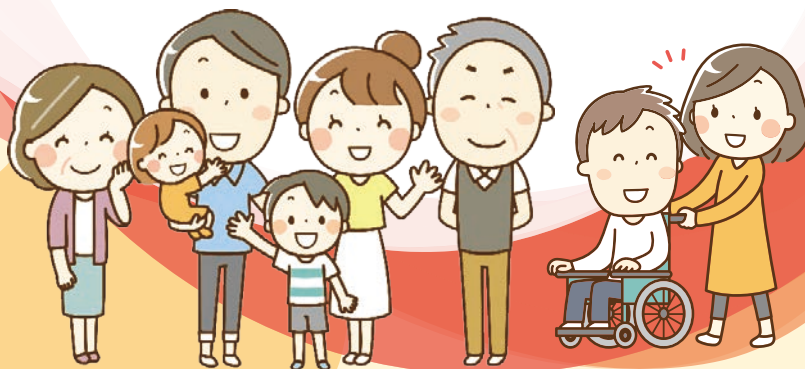


第3次



八幡市 地域福祉推進計画

令和5年度～令和9年度



令和5年3月

ごあいさつ

全国的に、少子・高齢化と人口減少が進んでいます。そして、ライフスタイルや価値観の多様化、時代の移り変わりに伴い、地域社会の中での人と人とのつながり方が変化しています。そのような中、国においては「支え、支えられる関係が循環し、誰もが役割と生きがいを持つ」地域共生社会の実現に向け、社会福祉法の改正や地域包括ケアシステムの構築に向けた取組などが進められてきました。



本市においては、平成 25 年 3 月に第 1 次計画を社会福祉協議会と協働して地域福祉の推進に向けた理念や方向性をひとつにする一体的な計画として策定し、一部地域において地区コーディネーターの配置を行うなど、住民の皆様による実践的な地域福祉の取組を進めて参りました。次に、平成 30 年 3 月に策定した第 2 次計画では、『わたしたちの談話』プロジェクトを重点プロジェクトとして位置づけ、地域福祉の原点に立ち返った座談会を進める取組として、住民の皆様や関係団体の皆様、福祉に携わる専門職とともに語り合いの中で、新たな活動の創出と地域のつながりづくりに努めて参りました。

そして、この第 3 次計画では、引き続き支援が必要な人への福祉の充実に努めるとともに、「談話」を継承して「受け手」「支え手」の関係性を越えて、誰もが自分らしく活躍することができる地域を目指し、人と人、人と社会資源を分野や立場、属性を越えて広くつなぐ基盤づくりを行う取組へと発展させて参ります。

本計画の推進にあたっては、行政はもとより、住民の皆様や地域で活動されている関係団体、関係機関の皆様とともに「つながり」を大切に連携、協働しながら取り組むことが必要不可欠です。今後ともご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定にあたりご尽力を賜りました八幡市地域福祉推進計画策定委員の皆様をはじめ、ワークショップにご参加いただきました皆様、アンケート調査やヒアリング調査、パブリックコメントにおいて貴重なご意見、ご協力いただいた皆様に心から感謝を申し上げます。

令和 5 年 3 月

八幡市長

堀口丈昭

ごあいさつ



本会では、八幡市と協働で、平成25年に「地域のつながりで築く 安心・幸せのまちづくり」を基本理念とする第1次八幡市地域福祉推進計画を策定し、地区座談会の開催などを通して、地域の課題を共有し、住民同士や地域の団体間のネットワークづくりや支え合い活動を進めるなど、住民主体による地域福祉活動の推進に努めました。そして平成30年には、「認め合い 笑顔で結ぶ わたしたちのまち」を基本理念とする第2次八幡市地域福祉推進計画を策定し、「わたしたちの談活」を重点プロジェクトに掲げ、座談会活動を通じて、住民や地域団体、専門職などが複雑・多様化した福祉課題に対して、様々な想いや気づきを共有するとともに、新たな活動を創造し、課題解決に向けた様々な取組を行ってまいりました。

しかし近年、急速な少子高齢化と人口減少社会の到来、家庭内や地域における支え合う力の低下に伴う地域のつながりの希薄化、それに加え新型コロナウイルス感染拡大による社会経済活動の制限、また物価高騰による生活困窮者の増加などによって、個々の福祉サービスのみでは対応が難しい課題が顕在化するなど、福祉を取り巻く環境は一層厳しさを増しております。このような状況の中、令和2年6月に社会福祉法が改正され、制度・分野ごとの縦割りや「支え手」「受け手」という関係を超えて、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域を共につくっていく地域社会の実現が求められています。これらのことを踏まえ、これまで築いてきた地域福祉の深化を図るため、市、社会福祉協議会、そして地域住民の皆様や様々な団体、関係機関が協働し、より一層の連携を図ることが必要であります。

このたび策定しました第3次地域福祉推進計画では、「手と手がつながり 広がる輪 みんなでつくるおもいやりのまち」を基本理念に、様々な主体のつながりを強化し、それを広げ、住民一人ひとりが主役となり、おもいやりのあふれるまちづくりを目指します。具体的には、前計画の重点プロジェクトの「談活」で取り組んできた、談話・談笑を通じての「人づくり」「場づくり」に加え、本計画の重点プロジェクトでは談活プロジェクトを継承し、対象者や分野を超えてさらにつながっていく仕組みづくりを進めます。「担う」「知る」「つながる」「伝える」「考える」の5つの要素を連動させ、それぞれの取組の相乗効果により地域での様々な取組に発展させることで、住民一人ひとりが自分らしく活躍できる地域づくりを目指します。こうした取組は、市民の皆様と地域福祉に関わる関係機関や団体の皆様とともに推進していく必要がありますので、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定にあたりご尽力を賜りました、加藤委員長をはじめ策定委員の皆様、ご協力いただきました市民や関係団体の皆様方に心から厚くお礼申し上げます。

令和5年3月

社会福祉法人 八幡市社会福祉協議会
会 長 松本 伍男

も く じ

第 1 章 はじめに	1
1. 計画策定の趣旨	2
2. 計画の位置づけ	4
3. 計画の期間	5
4. 計画の策定体制	6
第 2 章 八幡市の地域福祉を取り巻く現状と課題	7
1. 各種データや調査結果などからみる現状	8
2. 第2次計画の振り返り	19
3. これからの地域福祉に求められること	24
第 3 章 計画の基本的な考え方	27
1. 基本理念	28
2. 基本目標	29
3. 重点プロジェクト	30
4. 圏域別の課題解決・支援体制	37
5. 施策の体系	38
第 4 章 施策の展開	41
第 5 章 計画の推進	65
1. 進行管理	66
2. 推進体制	67
巻末 資料編	69